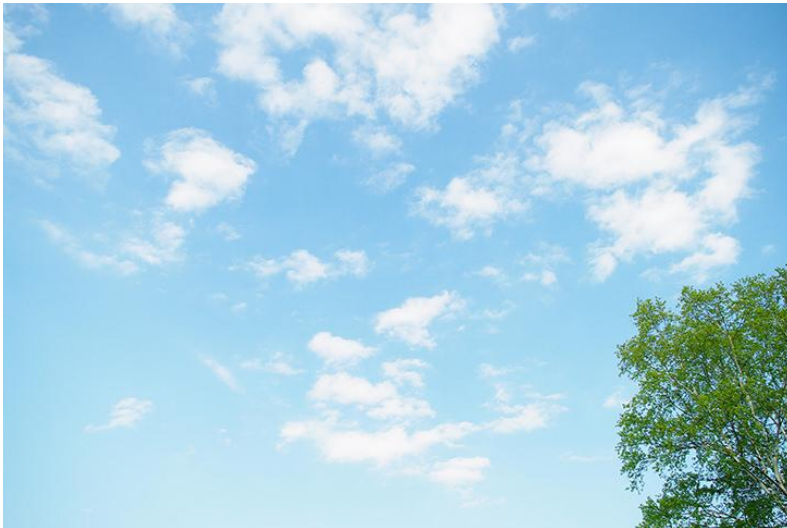




S REPORT サステナブルレポート No.105

脱炭素社会を目指す 地方自治体の取組み

エネルギー

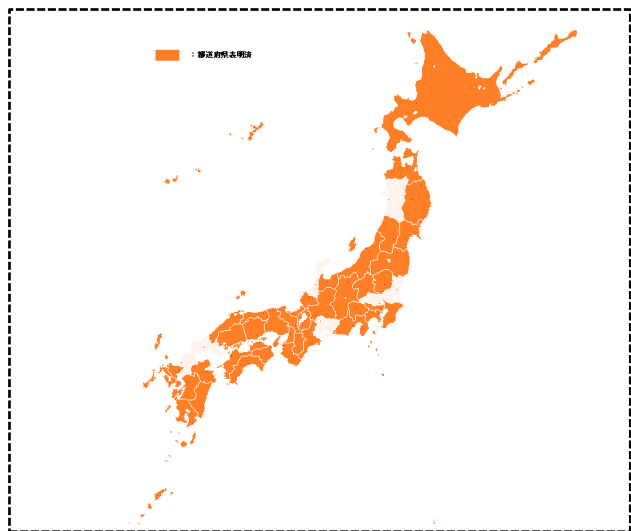
再資源化



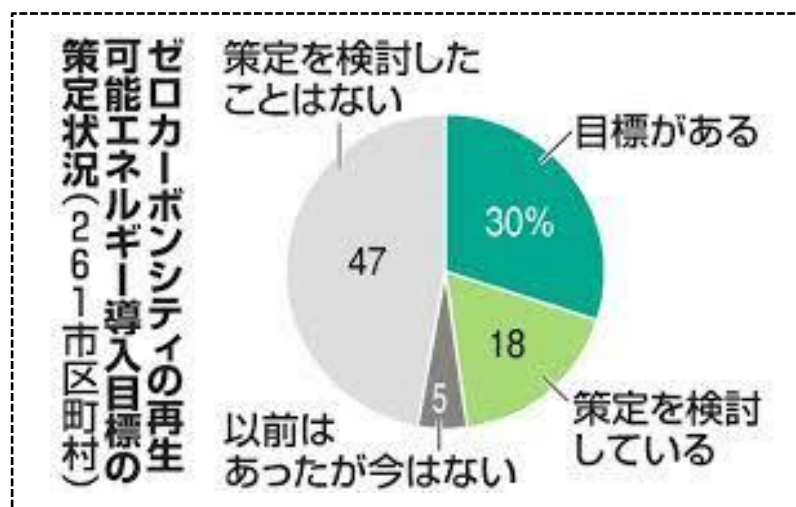
■ゼロカーボンシティとは

- 2050年に**温室効果ガスの排出量又は二酸化炭素を実質ゼロ**にすることを旨とする、首長自らが又は地方自治体として公表した地方自治体
- 2021年4月16日時点で、**370自治体（40都道府県、215市、6特別区、90町、19村）が表明**
- ゼロカーボンシティを表明しつつも、約半数の市町村では**再生可能エネルギーの導入目標の策定を検討していない**状況となっている

■表明都道府県



■再生可能エネルギーの導入目標の策定状況

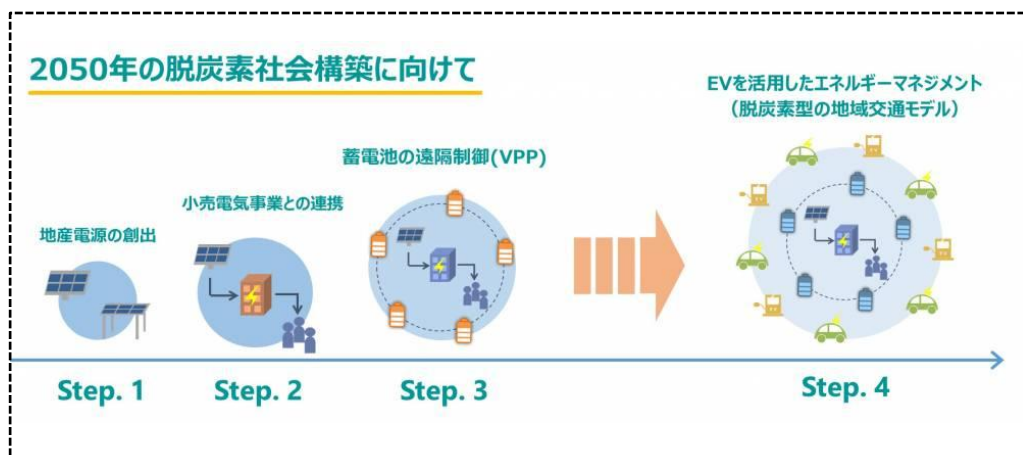


再生可能エネルギー導入のため、各地域の特性を生かした取り組みが必要

■ 神奈川県小田原市 ―EVを活用した地域エネルギーマネジメントモデル事業―

- EV（電気自動車）を活用したカーシェアリング事業を実施
- 2022年度までに地域に100台程度のEVを導入予定
- 神奈川県小田原市が株式会社REXEV、湘南電力株式会社と連携
- 一部のステーションでは、**湘南電力株式会社が100%カーボンフリー電力の供給を実施**し、再生可能エネルギー需要の創出に貢献している

■ 脱炭素型の地域交通モデルの構築



出典：小田原市HP「2050年までの二酸化炭素排出量 実質ゼロに向けて」

■ EVカーシェアリング eemo



出典：小田原市HP 「“脱炭素型”EVカーシェアリングがスタートしました！」

■ 地域課題（「災害」・「観光」・「経済」）解決への糸口

- 再生可能エネルギーは、災害時に活用することで**地域の防災拠点としての役割も強化**できる
- EVを動く蓄電池と捉え観光への活用を進めることで、地域経済の活性化につながる事が考えられる
- 地方自治体で脱炭素化という目標に取り組む結果、その他の地域課題解決にも貢献することができる

■ EVを活用してキャンプ場でワーケーション



出典：小田原市HP「脱炭素型地域交通モデルと新しいライフスタイル ～EVを活用してキャンプ場でワーケーション～」

■ 小田原市・日産自動車株式会社の災害連携協定

本協定では、EVの蓄電機能を活用し災害時の電力供給体制を強化、また平時にはリモートオフィスやワーケーションなど新たなライフスタイルにおけるEV活用など、持続可能な地域社会、SDGsの達成に向け、以下の取り組みを行います。

- 小田原市は脱炭素型地域交通モデルに関する平時のEV活用の多様化（地域エネルギーバランスの調整機能、電力インフラの補完機能）の取り組みを活かし、日産自動車と共にワーケーションなど新たなライフスタイルへのEVの有効性等を市民へ積極的に発信する。
- 小田原市で災害を起因とする停電が発生した際、市が指定する避難所に、神奈川日産、日産サティオ湘南、日産プリンス神奈川の店舗に配備している日産リーフ試乗車を無償で貸与する。
- 小田原市、日産自動車、神奈川日産、日産サティオ湘南、日産プリンス神奈川の連携により「走る蓄電池」であるEVからの給電を行うことで、災害時においても継続して電力が供給できる体制を整え、避難所の円滑な運営を図り、市民の生命及び身体の安全を守る。

出典：日産自動車株式会社

■ 脱炭素型地域交通モデル事業×レジリエンス×ワーケーション



2020年8月には、株式会社 REXEVと、キャンプ場開発・遊休地活用の株式会社 Recampが、平時の EV 活用の一つのモデルとして、小田原市いこいの森林間オートサイトにて、電気自動車の電気を使用するのに必要な機器、およびプロジェクト等の電化製品の貸出を行う「EV でワーケーション応援セット」の提供を開始した。EVを移動手段だけでなく、“動く蓄電池”としての機能も活かし、コロナ禍で変化する新しいライフスタイル、そしてゼロ・コンタクトのニーズにも合致した取り組みとなっている。

出典：小田原市HP「脱炭素型地域交通モデル事業×レジリエンス×ワーケーション」

私たちが貴社の
廃棄物対策課になります。

企業や店舗の廃棄物管理代行で、コストや環境負荷を適正化します。

▶ 廃棄物マネジメント事業

情報提供から実行支援まで

SDGs・ESGの企業対応を
支援しています。

- ✓ 何から取組み始めればいいのかわからない
- ✓ 経営層や社員への浸透に悩んでいる
- ✓ SDGs・ESG投資に関する社内セミナーや社員研修を行いたい

無料！

お問い合わせ／お見積もり

お急ぎの方はお電話で

📞 03-5542-5300

受付時間 9:00～19:30

参照・引用資料

- 環境省,「2050年カーボンニュートラルの実現に向けた最近の動向について」 (https://www.kyushu.meti.go.jp/seisaku/energy/oshirase/210301_1_2.pdf)
- 環境省,「2050年 二酸化炭素排出実質ゼロ表明 自治体 2021年7月30日時点」 (http://www.env.go.jp/policy/zero_carbon_city/01_ponti_210730rev.pdf)
- 朝日新聞,「再エネ導入に壁 目標設定は排出ゼロ宣言自治体でも3割」,2021年4月19日 (<https://www.asahi.com/articles/ASP4L6CYDP3YULBJ00L.html>)
- 国際環境経済研究所,「「ゼロカーボンシティ」に向けて必要なこと」,2021年6月15日 (<https://ieei.or.jp/2021/06/takeuchi210615/>)
- 環境省,「地域の脱炭素化の取組の促進について(地方公共団体実行計画等)」2020年12月, (http://www.env.go.jp/earth/ontaihou/mat02_3ver2.pdf)
- 小田原・箱根 EVカーシェアリング eemo(イーモ) HP「eemoの歩み」 (https://www.eemo-share.jp/wp-content/uploads/2021/06/eemo_report_202106.pdf)
- 小田原市,「EVを活用した地域エネルギーマネジメントモデル事業 中間レポート」 (<https://www.city.odawara.kanagawa.jp/global-image/units/486723/1-20210608094913.pdf>)
- 小田原市,「2050年までの二酸化炭素排出量 実質ゼロに向けて」2019年12月5日 (<https://www.city.odawara.kanagawa.jp/field/envi/energy/topics/p28482.html>)
- 小田原市,「“脱炭素型”EVカーシェアリングがスタートしました!」2021年5月6日 (https://www.city.odawara.kanagawa.jp/field/envi/energy/electric_vehicle/ki-20200148.html)
- 小田原市,「脱炭素型地域交通モデルと新しいライフスタイル ~EVを活用してキャンプ場でワーケーション」 (https://www.city.odawara.kanagawa.jp/field/envi/energy/electric_vehicle/workation.html)
- 小田原市,「脱炭素型地域交通モデル事業×レジリエンス×ワーケーション」2020年9月9日 (https://www.city.odawara.kanagawa.jp/field/envi/energy/electric_vehicle/p29999.html)
- 株式会社 REXEV,「キャンプ場で電化製品が使える! eemoに乗って、快適ワーケーション!」,2021年8月31日 (https://rexev.co.jp/content/wp-content/uploads/2020/08/REXEV_20200831.pdf)
- 日産自動車株式会社,「小田原市と日産自動車、持続可能な地域社会、SDGsの達成に向けた連携を発表」,2020年7月30日 (<https://global.nissannews.com/ja-JP/releases/release-bf71f3ea34e8173c8f0e22230102912d-200731-02-j>)

サステナブルレポートに関するお問い合わせ先:

SREPORT 編集部 ☎ 03-5542-5300 ✉ info@sfinter.com

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失 利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的所有権は株式会社サティスファクトリーに帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

Satisfactory



<https://www.sfinter.com/report/>